

知と心のテーマパーク 「としよかん」へ行こう！

みんなが
便利に楽しく
つながる
頼りになる



みんなが楽しく集える図書館をめざして



江戸川区長 齊藤 猛

本区では、共生社会「ともに生きるまち」の実現、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて取り組んでいます。

区立図書館では、指定管理者制度を導入し、民間事業者の能力やノウハウを活かしながら、図書館サテライトの設置や電子図書サービスの導入など、さまざまな変化に対応してきました。

今回、本区の目指す姿の実現に向けて、図書館はどうあるべきか、どのような方向で進んでいくべきか、区民の皆様にご意見を伺い、検討委員会での議論を経て、2030年の図書館の姿を描きました。

本計画にもとづき、「みんなが」「楽しく」「便利に」「つながる」「頼りになる」図書館をめざし、取組みを進めてまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提案をいただきました区民の皆様や検討委員会の委員の皆様をはじめとする各関係団体の皆様に心よりお礼を申し上げます。

目次

1	計画の位置づけ	1
	(1) 計画の背景と目的.....	2
	(2) 計画の体系と期間.....	4
2	江戸川区立図書館の現状と課題	5
	(1) 江戸川区立図書館の現状.....	6
	(2) 図書館に関わるニーズ(アンケート調査から).....	11
	(3) 江戸川区立図書館の課題	13
3	今後求められる江戸川区立図書館	14
	(1) 2030年の江戸川区立図書館の姿.....	15
	(2) 2030年に向けての取組み	16
	①サービス	17
	②コレクション	21
	③施設・運営.....	25
	④子ども読書活動推進	29
	(3) 計画の実現に向けて	35
	資料編	36

■ 計画策定の経過

■ 「江戸川区立図書館に関するアンケート」結果

■ 図書館施設一覧

■ 用語集

1 計画の位置づけ



(1) 計画の背景と目的

図書館とは

- 図書館とは、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」と『図書館法』に明記されています。
- 図書館には、国立図書館、公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館などがあります。
- 公共図書館は、自治体が設置する公立図書館と、法人等が設置する私立図書館に分けられます。
- 公立図書館は、都道府県立図書館、区市町村立図書館に分けられ、地域住民に図書館サービスを提供しています。



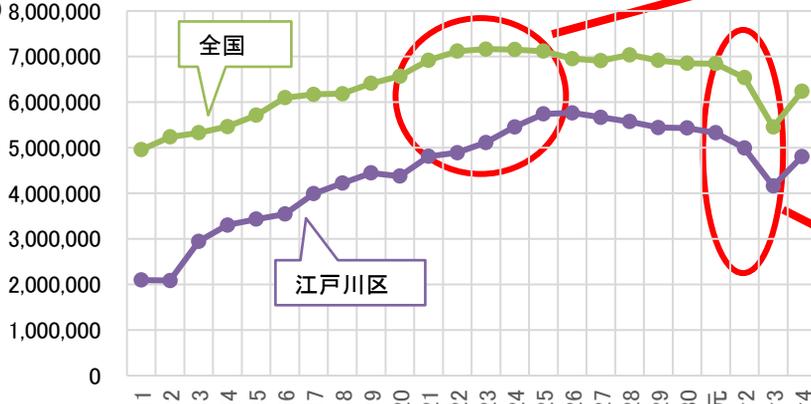
社会状況の変化

- 図書館は、1970年代ごろから貸出サービスを中心に、子どもも大人も日常的に利用する施設となりました。
- しかし、貸出数は、2011年（平成23年）をピークに全国的に減少傾向となっています。
- 社会の多様化やデジタル化など近年の社会環境の変化により、新たな機能や役割が求められるようになっていきます。

全国(百点)

全国の貸出点数と江戸川区の貸出点数の推移

江戸川区(点) 8,000,000



2011年（平成23年）をピークに減少傾向
書店等での書籍売上は
1996年（平成8年）を
ピークに減少傾向に入っていた

2020年（令和2年）にコ
ロナ禍の拡大を防ぐた
めの臨時休館を行った影
響などで大幅に落ち込んだ

※左記のグラフは、日本図書館協会『日本の図書館』より

共生社会 = SDGsにふさわしい図書館をめざします

江戸川区がめざす共生社会



出典：『共生社会ビジョン』表紙

江戸川区は、将来像としての『2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）』と、「自分らしく輝けるまち」「安全で安心なまち」「環境にやさしいまち」「経済が元気なまち」「住み続けたいくなるまち」をめざし『2030年の江戸川区（SDGs*ビジョン）』を策定しています。

子ども読書活動推進計画*

「子どもの読書活動の推進に関する法律」にもとづく子どもの読書活動推進についての内容を盛り込みます。江戸川区立小中学校では文部科学省「教育課程特例校」の指定を受け、「読書科」を設置しています。この計画により、子どもたちの読書活動をさらに広げていきます。

読書バリアフリー計画*

「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」にもとづき、障害の有無にかかわらず誰もが利用できる図書館をめざします。

これからの江戸川区がめざす図書館の姿を明確にし 今後取り組む施策やサービスを計画

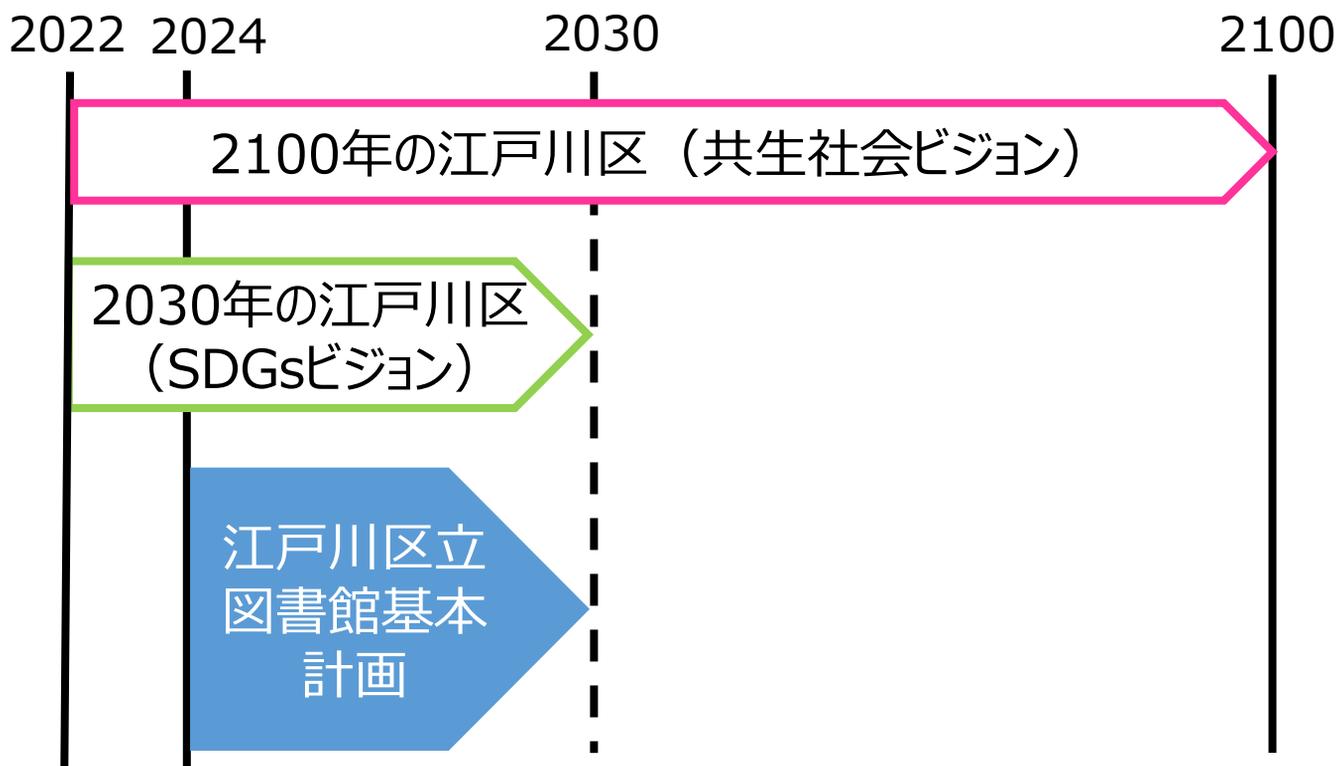
※「SDGs（持続可能な開発目標）」とは

2030年までにすべての国連加盟国が達成を目指す国際目標。経済（経済的な豊かさ）、社会（ひとり一人の人権の尊重）、環境（地域環境の保護）の3つのバランスをとり、将来まですべての人が平和で豊かに暮らせる世界を実現しようとするものです。

(2) 計画の体系と期間

計画の期間は2030年までとします

- 本計画は、『2100年の江戸川区』『2030年の江戸川区』を上位計画として策定します。
- 『2030年の江戸川区』では、図書館について「近くにないから」という理由で利用できていない区民の割合を0(ゼロ)にすることを目標にしています。
- 本計画のもとで、図書館の運営方針や基準を見直し、事業計画などを立てていきます。
- 7年間という長期構想のため、数値による目標は立てていません。本計画を念頭に置き、より短い期間の計画において、適宜数値目標を設定します。



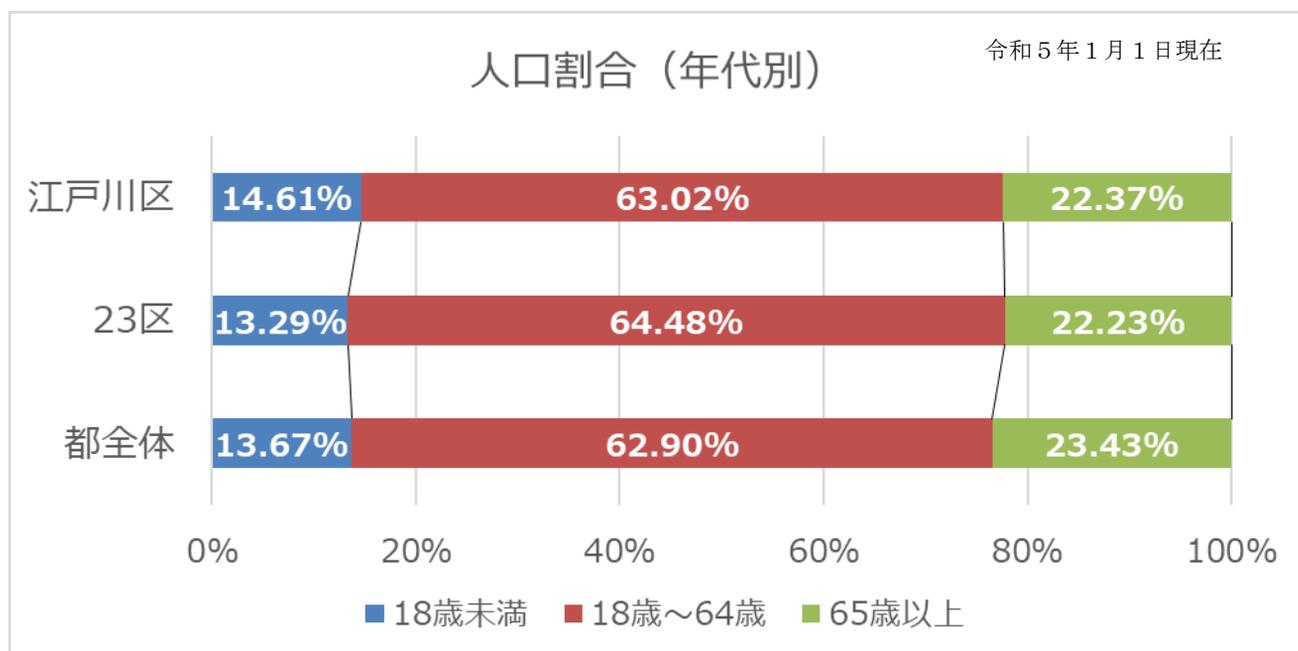
2 江戸川区立図書館の現状と課題



(1) 江戸川区立図書館の現状

江戸川区の概要

- 江戸川区は、東京都特別区の最東端に位置しており、人口約69万人の自治体です。
- 東京の他区市町村と比べて、子どもや子育て世帯の割合が多いです。
- 23区の中でも外国人居住者の数が多いです。
- 「ともに生きるまちを目指す条例」を制定し、今日生まれた子どもたちが生活している2100年の未来に向けて、「誰もが安心して暮らせるまち」「共生社会」の実現をめざしています。



令和6年1月1日現在

自治体	外国人の人口（人）	都内での順位
新宿区	43,897	1位
江戸川区	42,918	2位
足立区	39,331	3位
江東区	37,006	4位
豊島区	32,732	5位

※「東京都の統計」 <<https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp>>より

図書館の基本情報



中央図書館 外観

- 区民や区の在勤・在学者、団体等を対象とした公立図書館です。
- 江戸川区では「江戸川区立図書館条例」にもとづき12の図書館を設置しています。また、身近なところで予約資料の受取や資料の返却ができる「図書館サテライト*」を10校の小中学校に設置しています。
- 区立図書館12館の構成や面積は、資料編(p.36～)のとおりです。
- 指定管理者制度*を導入し、図書館を運営しています。

※「図書館サテライト」とは

もっと身近に区立図書館をご利用いただくため、区内10か所の小中学校に「区立図書館サテライト」を設置しています。週2回、予約資料の貸出や返却、利用登録など、区立図書館の一部のサービスがご利用いただけます。特に、「ブックポスト」は、年末年始等を除く24時間利用可能で、とても便利です。また、日曜日には学校図書館内の図書を自由にお読みいただける学校図書館の地域開放も行っています(資料は館内でのみ閲覧できます)。

図書館の役割分担

江戸川区立図書館は「中央図書館」「地域図書館」「コミュニティ図書館」の3種の図書館で役割・機能を分担し、資料収集やサービス、施設運営を行っています。

中央図書館 (1館)	地域図書館 (9館)	コミュニティ図書館 (2館)
図書館システムの運営管理と組織的サービスを統括する中心館	誰でも使いやすい地域の身近な図書館	資料とのふれあいの場を提供するアットホームな図書館

図書館の配置

図書館と図書館サテライトを区内にバランスよく設置し、より身近なところで図書館の資料を借りたり返したりできるようにしています。

江戸川区立 図書館 MAP



近年の主な取組み

■図書館サテライトの設置

- 学校と連携し、区内10か所の小中学校に「図書館サテライト」を設置することで、区民の利便性を高めています。

■学校図書館への支援

- 図書館職員が区立小中学校の学校図書館を定期的に巡回し、運営支援を行っています。
- 学校図書館へ蔵書管理システムを導入し、児童・生徒の読書環境を整備しています。

■インターネットを通じて利用できるサービスの充実

- 外国語の資料を多くそろえた電子図書サービス*を開始し、日本語での読書が難しい方の読書機会の創出を図っています。
- 視覚障害者向け電子図書サービス「アクセシブルライブラリー*」を開始し、視覚障害のある方の読書環境の向上に努めています。
- 区史や郷土刊行物などのデジタル化資料を公開するデジタルアーカイブ*サイトに、映像や音声資料を追加し、見やすさを追求しました。

■セルフサービス（自分でいろいろな手続きなどができるサービス）の充実

- 蔵書へのICタグ*貼り付けと、自動貸出機の全館への導入を行い、手軽に貸出手続きができるようになりました。
- 安心して読書を楽しめるよう、本の除菌機を設置しました。



電子図書サービスロゴ



デジタルアーカイブ端末（中央図書館）



自動貸出機（中央図書館）



図書除菌機（中央図書館）

江戸川区立図書館の統計（令和4年度）

江戸川区の図書館の主な実績は次の表のとおりです。

個人貸出数	4,482,003点	住民1人あたり個人貸出数	6.47点	自動貸出機稼働率（貸出に占める割合）	中央 41.39% 地域 22.60% コミュニティ 17.36%
所蔵資料数	1,627,341点	住民1人あたり所蔵資料数	2.36点	雑誌・新聞	雑誌 569種 新聞 68種
登録率（自治体内有効登録）	約30%（約13%）	来館者数（1日平均）	中央 約1,035人 地域 約732人 コミュニティ 約371人	オンラインデータベース*	10種
イベントの実施回数	児童向け 600回開催 8,641人参加 一般向け 254回開催 5,997人参加	インターネット閲覧端末の利用回数	7,753回	障害者サービスの利用回数	宅配 310回 郵送 7,838回 対面朗読* 74回

主な指標を他の22区と比較すると以下のとおりになります。

<p>図書館数</p>  <p>12館 (8位)</p> <p>1館あたりの区面積 4.09㎡ (23位)</p>	<p>所蔵図書数</p>  <p>1,541,610点 (7位)</p> <p>区民1人あたり図書数 2.24点 (20位)</p>	<p>予約受付数</p>  <p>989,264点 (12位)</p> <p>区民1人あたり予約受付数 1.44点 (20位)</p>
<p>資料費</p> <p>¥</p> <p>年間資料費 203,409千円 (2位)</p> <p>区民1人あたり資料費 295円 (14位)</p>	<p>児童サービス</p>  <p>児童書数 460,875点 (4位)</p> <p>児童書貸出数 1,869,371点 (5位)</p>	

() 内は23区内の順位
『令和5年度 東京都公立図書館調査』より（令和4年度の統計）

(2) 図書館に関わるニーズ（アンケート調査から）

「江戸川区立図書館に関するアンケート」を令和5年（2023年）8月から9月に実施し、3,329名の方から区立図書館に関してご意見をいただきました。アンケート結果の詳細は資料編（p.36～）につけています。

図書館を利用しない理由

■ 図書館へのアクセス

「時間がない」「図書館が遠い」は30%を超え、他と比べて高く、「場所を知らない」は8.5%と比較的低い。

場所を知っているが行きにくいという人が多い。

■ 情報収集の手段の多様化

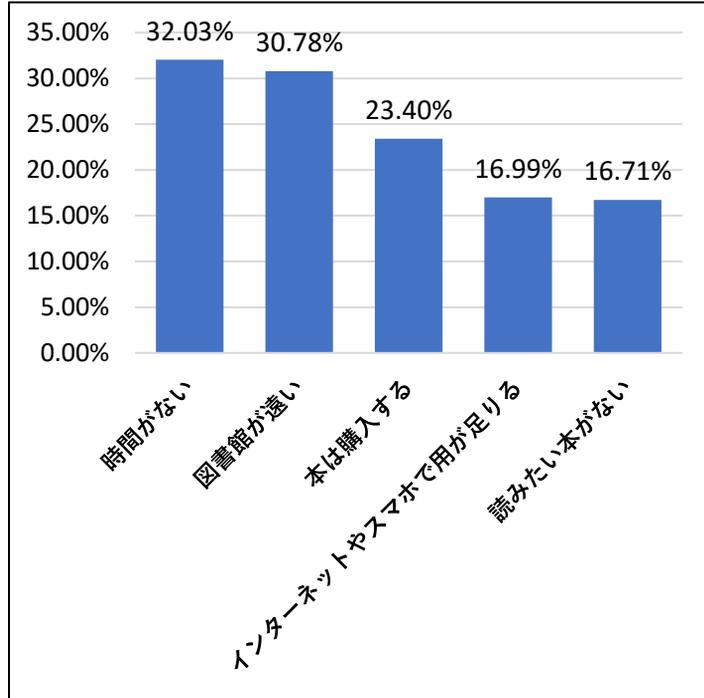
「本は購入する」「インターネットやスマホで用が足りる」「読みたい本がない」が続く。

図書館に読みたい本がない、情報入手はインターネットやスマホで足りると考える人が多い。

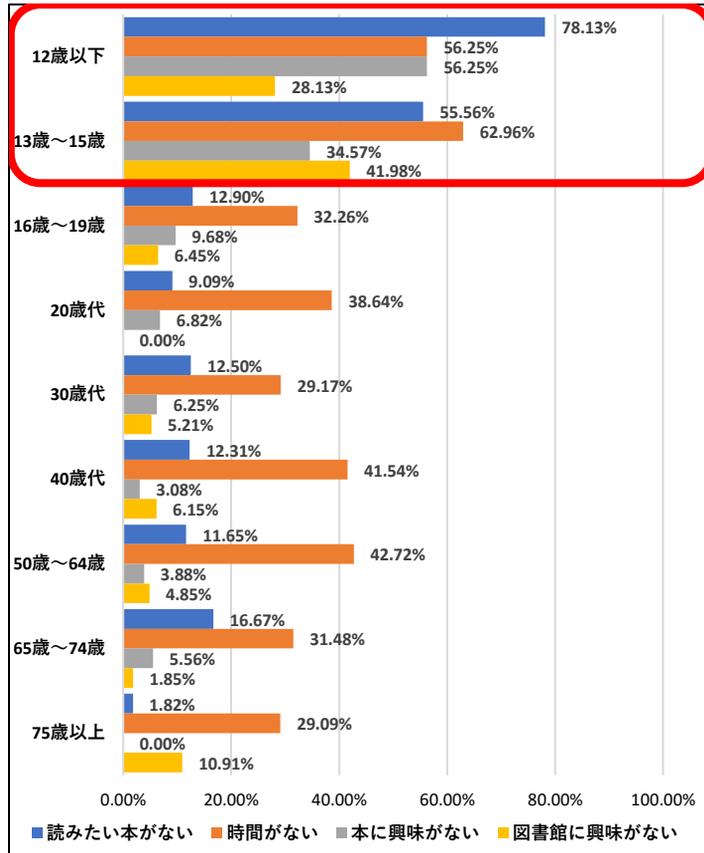
■ 子どもたちの読書や図書館利用への関心が低い

「12歳以下」「13～15歳」それぞれに占める「読みたい本がない」「時間がない」「本に興味がない」「図書館に興味がない」と答えた方の割合が、他の年代と比べてかなり高い。

読書や図書館の利用に時間をかけようとしていない子どもたちが多くいる。



図書館を利用しない理由
（回答数に対する割合の高い項目から5つ）



若い世代のニーズ

- 【12歳以下】くつろげる図書館
 - 寝転べる、くつろげる、飲食や談話ができる
- 【16歳～19歳】多様な情報源
 - 音楽資料や映像資料、データベースが利用できる
- 【学生】さまざまな活動
 - 多世代、多文化の交流や創造的な活動、Wi-Fi環境や電源が利用できる
 - スマートフォンやパソコンが利用できる
 - 情報の探し方などの講座、ボランティア活動などに参加できる

子育て・働き盛り世代のニーズ

- 子育てや仕事に役立つサービス
 - 子ども向け・子育て支援、キャリアアップ・起業・就業のための講座など、子育てと仕事に役立つイベントなどに参加できる
 - 近くの施設で資料の受取や返却ができる
 - 家から電子資料を利用できる
 - イベントや閲覧席、会議室の予約など、図書館に行かなくても利用できる
 - 資料の配置が魅力的でわかりやすい、必要な資料が質・量ともに揃っている、データベースを利用できるなど、充実した情報環境

図書館を利用していない方のニーズ

- 従来の図書館の枠から、一歩ふみ出したサービス
 - ものづくり・プログラミング・音楽などの趣味の場になる
 - グループで学習や作業ができる
 - 飲食や談話ができる、くつろげるスペースがある



静かな読書スペースの提供など
従来の図書館サービスを求める声に加えて
上記のように新しい機能への期待がみられた

(3) 江戸川区立図書館の課題

図書館の現状やアンケート結果による区民のニーズにもとづき、図書館の課題を整理しました。

- 共生社会の実現をめざす図書館として、読書バリアフリーの推進や外国人向けサービスの拡大、デジタルデバイド*などへの対応が必要です。
- 子ども読書活動を推進し、子どもたちの読書への関心を高める取組みが必要です。
- 図書館を利用しづらい区民が多くいることから、区内全域にサービスを届ける取組みが必要です。
- 従来の図書館の枠から一步ふみ出したサービスが求められています。

3 今後求められる江戸川区立図書館



(1) 2030年の江戸川区立図書館の姿

2030年の江戸川区立図書館の姿

2030年にどのような図書館になっていきたいかを描きました。

共生社会を支えるのは人びとの心です。多様な人びとが、互いの心に寄り添い支えあう社会をめざし、その基盤となる次の5つの図書館像を実現します。



(2) 2030年に向けての取組み

「2030年に向けての取組み」の構造

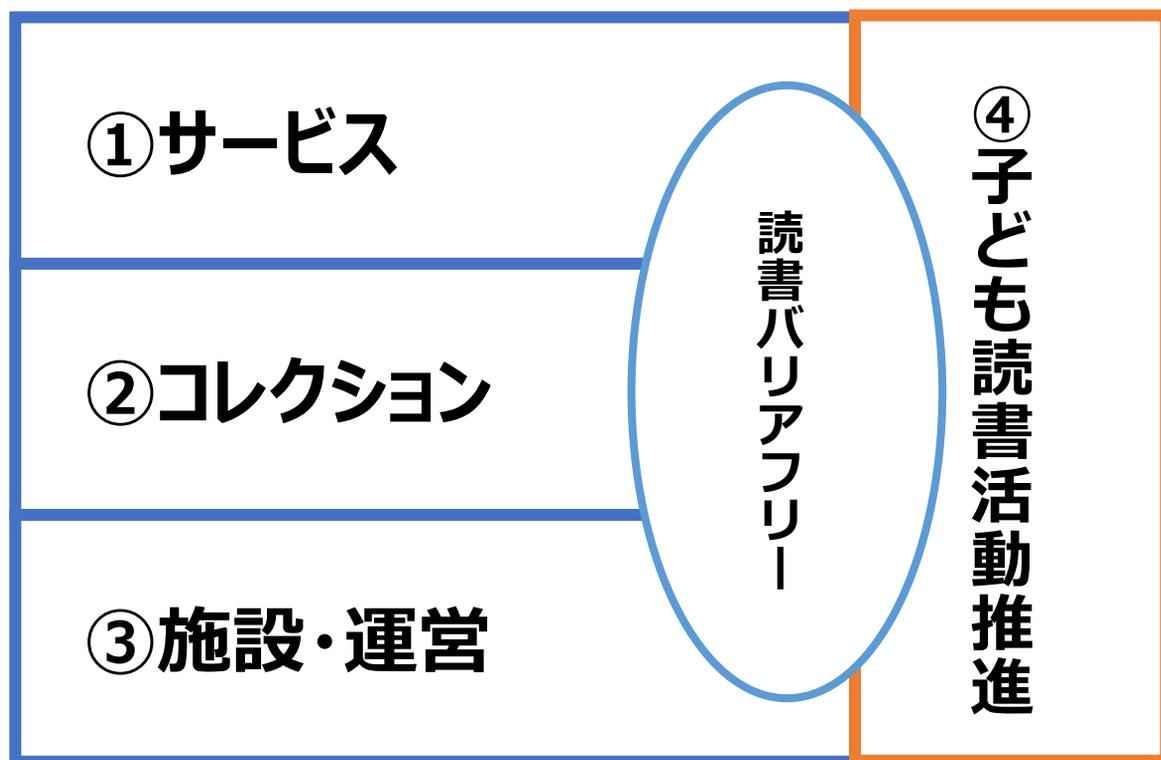
「2030年の江戸川区立図書館の姿」(p.15)を実現するための取組みを、

①サービス ②コレクション* ③施設・運営の面から整理しました。

子どもたちに向けた取組みについては、その重要性をふまえて別だてとし、

④子ども読書活動推進として整理しています。

読書バリアフリーは、①～④のすべての項目に盛り込んでいます。



※「コレクション」とは

図書館の蔵書(所蔵している資料)のことですが、現在は電子書籍など「蔵書」という用語ではカバーできないものもありますので、本計画では「コレクション」と呼びます。

① サービス

2030年に向けての取組みの方針

【方針1】みんなにとって頼りになるサービスの充実

【方針2】楽しい交流の中でいろいろな体験ができるサービス展開

【方針3】どこでも便利に利用できるサービスの充実

現在の主な取組み

- 蔵書の閲覧や貸出、検索、予約をはじめ、購入リクエストや、国や他自治体の図書館との相互貸借により所蔵していない資料の提供も行っています。
- 利用者の調べものを支援するレファレンスサービス*を提供しています。カウンターや電話での受付のほか、郷土・行政資料の提供も行っています。
- 障害者サービスは、宅配サービス、郵送サービス、対面朗読などの提供のほか、サピエ図書館*や点字図書館との連携も行っています。
- 熟年者へのサービスとして、大活字本の提供、福祉施設への団体貸出などを行っています。
- さまざまな講演会やセミナー、ワークショップなどのイベントを実施しています。
- 児童サービスとYA(中高生向け)サービスについては「④子ども読書活動推進」で触れます。



蔵書検索システム (OPAC*)
(文章から検索できる「「本の発見」
検索」の画面)



対面朗読室
(中央図書館)

方針1 みんなにとって頼りになるサービスの充実

- 1 区民の「知りたいこと」に確実に応えるサービスを拡充します。
- 2 読書バリアフリーのためのサービス（障害者サービス）を拡充します。
- 3 熟年者の活動の場となるようなサービスを拡充します。
- 4 外国人へのサービスを充実させます。
- 5 デジタルデバイドの解消に取り組みます。

具体的取組例

※「具体的取組例」には、拡充、強化、新規導入とともにその検討を開始するものを含みます（以下同様）。

- 子育てや仕事の支援など、生活の課題について気軽に相談できるサービスやイベント
- 蔵書のデジタルデータ化などに柔軟に対応できる、読書バリアフリーのための環境整備
- 熟年者の方を講師としたイベント
- やさしい日本語や多言語化など、日本語以外を母語とする方への利用案内（ホームページ等）
- 翻訳ツールなど、日本語以外を母語とする方とのコミュニケーション手段の確保
- 「電子図書サービス」の利用促進
- パソコンやスマートフォンでの情報の探し方など、情報の活用を支援するイベント
- 所蔵資料にとどまらない、さまざまな情報へのアクセスを支援するサービス
- 情報格差解消のための積極的な情報発信

方針2

楽しい交流の中で いろいろな体験ができるサービス展開

- 1 読書の楽しみを深めるさまざまなイベントを充実させます。
- 2 趣味関心に応じた多様なイベントを充実させます。
- 3 多様な人びとが集い交流できる場を提供します。

具体的取組例

- 著者を囲む会など、読書の楽しみを深めるイベント
- ものづくり・プログラミングのような創造的体験など、趣味関心に応じてさまざまな活動ができるイベント
- 読書以外の切り口から、図書館利用のきっかけを生み出すイベント
- 世代を超えた読書会などの多世代交流イベント



方針3 どこでも便利に利用できるサービスの充実

- 1 自動貸出・返却、自動予約棚の整備を拡充します。
- 2 来館せずに行える手続きやサービスを拡充します。
- 3 図書館ホームページや図書館システムの機能を改良します。
- 4 DX*やAI*技術の活用について検討します。
- 5 予約資料貸出や返却のためのサービスポイント(場所)を充実させます。
- 6 出張イベントを拡充します。

具体的取組例

- 自動予約棚*の導入
- 使い勝手がよく、わかりやすいデザインの図書館ホームページへの改良
- 「ウェブリクエスト*」などの新しいサービスの導入
- 貸出券として利用できる図書館アプリ*の導入
- AIを活用した新機能の導入
- 図書館サテライトの機能向上・増設や、返却ポストの増設
- 区施設や商業施設などでの図書館イベントの出張開催

②コレクション

2030年に向けての取組みの方針

【方針1】みんなが楽しめる・学べる魅力的なコレクション・書架づくり

【方針2】便利に利用できるデジタル資料の充実

【方針3】読書バリアフリーのための資料の充実

現在の主な取組み

- 中央図書館は、専門的図書、参考図書、郷土・行政資料、地域図書館とコミュニティ図書館を補完する資料、資料的価値の高いものなどを収集しています。
- 地域図書館は、一般教養、実用、趣味や娯楽などの資料、調査研究に資する基礎的、入門的な資料を収集しています。
- コミュニティ図書館は、一般教養、実用、趣味や娯楽などの資料を収集しています。
- 視覚障害者等のための資料は、点字図書、録音図書*、大活字本などを収集しています。
- 外国語資料は、中央・西葛西・東部で収集しています。
- デジタル資料は、視聴覚資料（CD・DVDなど）や、電子図書、デジタルアーカイブなどを提供しています。



閉架書庫
(東部図書館)



録音図書と再生機
(中央図書館)



外国語図書などを提供する
「電子図書サービス」

方針 1

みんなが楽しめる・学べる魅力的なコレクション・書架づくり

- 1 読みたい!と思われるような魅力的なコレクションづくりとディスプレイを工夫します。
- 2 興味関心に対応した探しやすい書架づくりをします。
- 3 地域の特性に合わせたコレクションを構築します。
- 4 歴史・文化をはじめ地域に関する情報・記録を収集し、地域の活動を支えるための資料を充実させます。
- 5 社会の進展に応じた資料収集方針等の柔軟な見直しをします。

具体的取組例

- 子育て、教育、起業・就業、仕事のスキルアップ等の課題や、趣味・関心のあることに応じたコレクションづくり
- 新しい知識を得られる資料を揃えた書架や、分類にとらわれない横断的な配架、魅力的なディスプレイの工夫
- 地域課題について調べられる図書や地図、雑誌、パンフレットなどの収集
- 区民の意向を取り入れた選書方法の検討



方針2 便利に利用できるデジタル資料の充実

- 1 来館せずに利用できる電子図書コンテンツ*を充実させます。
- 2 オンラインデータベースを充実させます。
- 3 音楽・映像の情報源を充実させます。

具体的取組例

- 電子図書サービスの購入範囲の拡大
- 新聞雑誌記事、統計、辞書・事典類などのオンラインデータベースのコンテンツの拡大とその使い方の支援のための講座等
- デジタルアーカイブの収録コンテンツの拡大
- スマートフォンで利用できる音楽サービスなどの導入

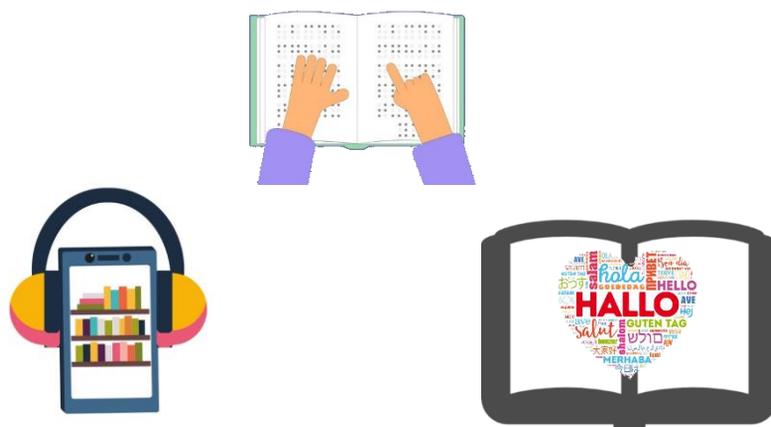


方針3 読書バリアフリーのための資料の充実

- 1 誰もが読書に親しむことができるよう、アクセシブル*な資料を充実させます。
- 2 日本語以外を母語とする方に向けた多言語の資料や、やさしい日本語の資料を増やします。

具体的取組例

- 録音図書や音声読み上げに対応した電子図書の収集
- 大活字本・点字・触る絵本などの利用しやすい資料の収集
- マルチメディアデイジー*の製作
- 図書資料のテキストデータの提供
- 電子図書サービスや多言語の資料の収集
- 日本語がやさしく書かれた資料の収集



③施設・運営

2030年に向けての取組みの方針

【方針1】みんなが使いやすい施設・設備の整備

【方針2】地域の機関・施設や書店などにつながる取組み

【方針3】サービスの向上を図るために必要な人材の確保・育成

現在の主な取組み

- 指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用した図書館運営をしています。
- サービスやコレクションづくりのための地域内外との連携（レファレンスや、国や他自治体の図書館との相互貸借など）をしています。
- 区内10か所の小中学校に図書館サテライトを設置しています。
- 地域と連携した、図書館ごとの特色のある事業を実施しています。
- 全館に順次Wi-Fiを導入しています。
- 会議室等を学習室として開放する期間を設けています。
- 対面朗読室、点字作業室、録音室、点字プリンター・点字用パソコン、拡大読書器を一部の館に設置しています。



小松川図書館 外観



図書の返却ができるブックポスト
(図書館サテライト)



車いすやベビーカーが通れる
書架の間の通路
(西葛西図書館)

方針1 みんなが使いやすい施設・設備の整備

- 1 イベントスペース、展示スペース等を確保します。
- 2 ユニバーサルデザイン*の採用やバリアフリーの整備をします。
- 3 Wi-Fiや電源、パソコン貸出など、情報設備を充実させます。
- 4 さまざまな年代の方に適した時間・さまざまな目的に合わせた空間の工夫をします。

具体的取組例

- 個人学習やグループ学習、仕事、交流イベント、制作物の展示など、さまざまな活動に対応できる新施設・設備の整備（複合施設化を含む）
- 静かな環境とにぎやかな環境が両立するゾーニング*
- ユニバーサルデザイン、バリアフリー、やさしい日本語や多言語のサイン、授乳室の整備
- 座席数の増設や、居心地のよい家具の整備
- パソコンやスマートフォンを接続できるWi-Fiや電源の整備
- デジタルサイネージ*を活用した、情報環境の整備

※施設・設備については、新築・改修等の大幅なレイアウト変更が可能なタイミングで整備していきます。

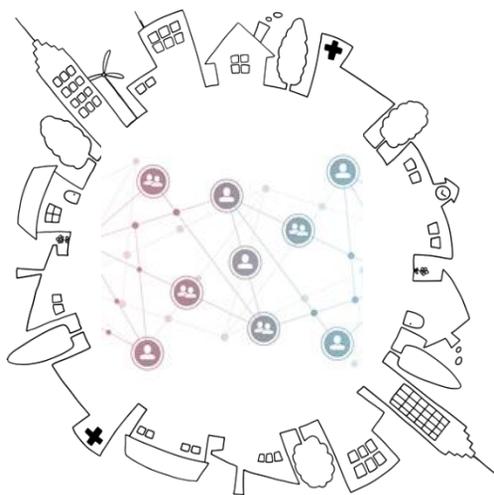
現行の施設では、整備が可能な範囲で実施していきます。

方針2 地域の機関・施設や書店などにつながる取組み

- 1 地域の特性に応じた図書館運営を充実させます。
- 2 書店との連携を強化します。
- 3 地域内外の機関、施設との連携した取組みを行っていきます。

具体的取組例

- 地域の特性の把握とそれに応じた取組み（外国人利用者が多い西葛西図書館での外国人向けイベントなど）
- 図書館サテライトの効果検証と、利便性の高い地域への配置（学校以外の区民施設などの活用を含む）
- 地域の書店と連携したイベント
- レフェラルサービス*（利用者が求める情報に応じた機関などを紹介するサービス）のための地域内外の専門機関との連携



方針3

サービスの向上を図るために必要な人材の確保・育成

- 1 図書・情報に関する知識とスキルを持った図書館職員を確保します。
- 2 これからの図書館サービスに必要な知識・スキルをもった人材を確保・育成します。

具体的取組例

- さまざまな機関と連携できる図書館職員の確保、その育成のための研修
- デジタル技術に精通した人材の確保、その育成のための研修
- 情報検索スキルの向上など、本計画の実現のために必要な人材の確保、その育成のための研修
- 子どもや高齢者ケアに関する専門的な知識・スキルをもった人材の確保、その育成のための研修
- 外国語のスキルを持った人材の確保、その育成のための研修



④子ども読書活動推進

2030年に向けての取組みの方針

【方針1】みんなのニーズ・発達段階等に応じたサービス

【方針2】子ども読書活動を確実に推進するためのコレクション

【方針3】地域をつなぐ子どもの読書環境の整備

【方針4】学校教育の状況に応じた学校連携

現在の主な取組み

- 児童書をそろえた「篠崎子ども図書館」を設置しています。
- 児童サービスは、絵本・紙芝居・児童書の提供、イベントの開催、本の紹介冊子の提供、小学校・幼稚園・保育園等との連携や団体貸出などを行っています。
- YA(中高生向け)サービスは、ティーンズコーナーの設置、イベントの開催、中高生向け情報冊子の提供、中学校との連携などを行っています。
- 区立図書館職員による学校図書館運営支援と学校図書館への蔵書管理システムの構築などを行っています。
- 調べる学習の支援として、「図書館を使った調べる学習コンクール in えどがわ」を毎年開催しています。



篠崎子ども図書館がある
子ども未来館外観



子ども用新聞・雑誌コーナー
(松江図書館)



貸出用ボードゲームを所蔵
(東部図書館)

「子ども読書活動推進」に関わるさまざまな主体

子どもの読書活動推進には、図書館、教育機関、地域、家庭等が連携し、地域社会全体で取り組み、子どもたちに読書の楽しさを届けることが必要です。



方針1 みんなのニーズ・発達段階等に応じたサービス

- 1 楽しい！と思える場の提供と読書へのきっかけをつくります。
- 2 乳幼児の読書との出会いの場を充実させます。
- 3 読書ばなれが段階的に進む小学生、YA（中高生）の興味関心を引く取組みをします。
- 4 特別なニーズを持った子ども（障害者、外国人など）へのサービスを拡充します。

具体的取組例

- 赤ちゃん絵本コーナーやりんごの棚*など、展示コーナーの設置
- 図書館見学ツアーなど、保育園などの子どもたちに図書館に来てもらうための取組み
- ゲームの要素を取り入れた、読書のきっかけとなる楽しい体験イベント
- ものづくり、プログラミングなど、創造的体験ができる場の提供
- 探究的学習のテーマ選定に役立つ、検索キーワードの例示やテーマ別ブックリストの作成など

※「りんごの棚」とは

特別なニーズのある子どものためのアクセシブルな書籍を集めた本棚のことです。スウェーデンで始まり、この「りんごの棚」という名称で世界各地の図書館に広がっています。この本棚には、やさしく書かれた本、触って楽しめるもの、大活字本、点字の本、録音図書など、読みやすさやバリアフリーに配慮した書籍が置かれています。

方針2

子ども読書活動を確実に推進するための コレクション

- 1 読書バリアフリーコンテンツを拡充します。
- 2 多様化するメディアの幅広い収集を行います。
- 3 知りたい・学びたいと思う子どもたちの好奇心に応えます。

具体的取組例

- さまざまなニーズに応じたコレクションづくり
- 点字・触る絵本・触地図、多言語の本（外国語絵本など）や、やさしい日本語の本などの収集
- 百科事典やその他の学習コンテンツのデータベースの提供
- 教科書の内容に沿って学べるコレクションの提供



方針3 地域をつなぐ子どもの読書環境の整備

- 1 子ども同士や親子などで、リラックスして自由に読書を楽しめる快適な読書空間づくりをします。
- 2 地域に読書機会を届ける手段を増やします。
- 3 地域の施設・団体と連携します。
- 4 子どもが主体となった活動の推進や担い手の育成をします。
- 5 篠崎子ども図書館(子ども未来館内)で先行して読書活動推進の新しい取り組みを導入し、普及させます。

具体的取組例

- 話したり、寝転んだりして読書を楽しめる空間づくり
- 没頭して読書や学習ができるような空間づくり
- 子どもが集まる場に読書の楽しみを持ちこむ、新しいタイプの移動図書館*
- 就学前教育施設、共育プラザ、子育てひろば、なごみの家、魔法の文学館などとの共催イベント
- 地域書店等との子ども読書に関わる連携講座
- 子どもたち同士で読書の楽しさを広めあう活動
- 子ども司書養成講座*や子どもによるおはなし会
- 子どもの読書活動推進の担い手に向けた講座
- 篠崎子ども図書館でのイベントや講座など先進的な取組みと、区内各館への普及・推進
- 学校で活動するボランティアなど、地域の読書活動支援に関わる人びとの交流・情報共有の仕組みの構築

方針4 学校教育の状況に応じた学校連携

- 1 学習のためのコレクションを充実させます。
- 2 GIGAスクール構想*に対応した取組みを行います。
- 3 区立図書館と学校図書館の図書配送の仕組みを検討します。

具体的取組例

- 区立図書館職員による学校図書館の運営支援
 - ・ 子どもの学習に対応した学校図書館コレクションの構築支援
 - ・ 区立図書館からの団体貸出用図書パッケージ*による支援
- 児童・生徒用タブレットと、図書館のインターネット環境との連携
- 区立図書館と学校図書館のシステム連携と学校への資料配送の仕組みの構築



(3) 計画の実現に向けて

本計画は、江戸川区立図書館の発展のための第一歩です。

共生社会の実現と、その社会的基盤として「みんなが」「楽しく」「便利に」「つながる」「頼りになる」図書館づくりを進めていきます。

- 本計画にもとづき、運営方針や基準を見直し、事業計画などを立てていきます。
- 取組例として挙げた項目を中心に、既存サービスの拡充・見直しや、新しいサービスの実現に向けてスピード感を持って取り組みます。
- 取組みにあたっては、地域の機関や施設と連携します。
- 図書館利用者・区民の視点からの事業評価や、関係者も交えた意見交換を行い、ともに計画を推進します。
- 2030年以降のビジョンを描きながら、新たな図書館づくりを進めていきます。

資料編



計画策定の経過

- **2023年（令和5年）**
 - **7月21日 江戸川区立図書館基本計画検討委員会（第1回）**
 - ・図書館の現状と内部検討による図書館が目指す姿の報告
 - ・参考資料（ユネスコ公共図書館宣言と参考取組事例の概要）の説明
 - ・「今後求められる江戸川区立図書館」について意見交換
 - ・「江戸川区立図書館に関するアンケート（案）」の確認
 - **8月8日～9月30日 江戸川区立図書館に関するアンケート**
 - **9月8日 江戸川区立図書館基本計画検討委員会（第2回）**
 - ・「今後の図書館のあり方について」の講話（大串委員長）
 - ・江戸川区立図書館の現在のサービスとコレクションづくりの説明
 - ・「2030年に向けた基本方針・取組」について協議
 - **10月20日 江戸川区立図書館基本計画検討委員会（第3回）**
 - ・「私が見た学校図書館」の講話（藤田副委員長）
 - ・「江戸川区立図書館に関するアンケート」結果の確認
 - ・「2030年に向けた基本方針・取組（子ども読書活動推進）」について協議
 - **12月1日 江戸川区立図書館基本計画検討委員会（第4回）**
 - ・基本計画（案）について協議
 - ・計画のタイトルについて意見交換
 - **12月15日～12月28日 意見募集**
- **2024年（令和6年）**
 - **2月6日 江戸川区立図書館基本計画検討委員会（第5回）**
 - ・意見募集で寄せられた意見と回答案の確認
 - ・基本計画（案）の最終調整

江戸川区立図書館基本計画検討委員会 委員名簿（令和5年9月改定）

No.	氏名	団体等	備考
1	大串 夏身	昭和女子大学名誉教授	1号委員
2	藤田 利江	全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー	
3	田島 英治	東京都書店商業組合江戸川支部	2号委員
4	鶴田 麗子	江戸川区立下小岩小学校校長	3号委員
5	安田 真理	江戸川区立南小岩第二小学校校長	
6	松浦 松子	江戸川総合人生大学同窓会会長	4号委員
7	山本 國子	えどがわボランティアセンター理事	
8	高山 稔	江戸川区くすのきクラブ連合会役員	
9	藤原 美子	江戸川区視覚障害者福祉協会理事長	
10	齋藤 恵美	区民	5号委員
11	陳 林	区民	
12	園木 美憂	区民	
13	井上 培	区民	
14	岡部 長年	文化共育部長	6号委員
15	佐藤 嘉弘	教育委員会事務局教育指導課長	
16	安田 健二	文化共育部文化課長※	
17	竹内 悟	中央図書館長	7号委員
18	中島 善久	小松川図書館長	

※文化共育部文化課長 令和5年8月31まで 白木 雅博

江戸川区立図書館基本計画検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 江戸川区立図書館（以下「図書館」という。）が目指すべき姿と今後取り組むべき施策やサービス等について提示する基本計画を策定するに当たり、広く意見を聴くため、江戸川区立図書館基本計画検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討委員会は、基本計画の策定に関する事項を検討する。

(委員)

第3条 検討委員会は、次に掲げる者のうちから文化共育部長（以下「部長」という。）が依頼する委員をもって構成する。

- (1) 学識経験者
- (2) 書店関係者
- (3) 学校関係者
- (4) 地域関係者
- (5) 江戸川区民（令和5年5月10日において住民基本台帳から無作為抽出により選出された者）
- (6) 江戸川区職員
- (7) 図書館職員
- (8) 前各号に掲げる者のほか、部長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、基本計画の検討が終了する日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 検討委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選により選任する。
- 3 副委員長は、委員長が指名する。
- 4 委員長は検討委員会を代表し、会務を総理する。
- 5 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(検討委員会)

第6条 検討委員会は委員長が招集する。

- 2 検討委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 委員は、必要と認められる場合には、ウェブ会議システム（情報通信技術を利用する方法により、映像及び音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができるシステムをいう。）により、検討委員会に出席することができる。

(委員以外の出席等)

第7条 検討委員会は、必要があると認めるときには、委員以外の者に対し、検討委員会に出席させ、意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(報償)

第8条 第3条の委員（江戸川区職員及び図書館職員を除く。）に対する報償は、別に定め

るところにより予算の範囲内で支給する。

(守秘義務)

第9条 委員及び第7条の規定により検討委員会に出席した者は、検討委員会の内容その他検討委員会で知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第10条 検討委員会の庶務は、文化共育部文化課において処理する。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営について必要な事項は、部長が別に定める。

付 則

この要綱は、令和5年6月21日から施行する。

みんなで話しあった、これからの江戸川区立図書館

基本計画検討委員会で、委員のみなさんからいただいた意見を紹介します。

世代を超えて、
みんなが楽しく
集える場所

熟年者に活動
してもらえよう
な
取組み

環境が整うのと同時に、
そこに力を注いでいく
人の存在も重要

心の成長を
支える、
心のよりどころ
になる図書館

家のように
形にこだわらず過ごせるスペースがほしい
大人も図書館に遊びに行こうという感覚で
来られるような、楽しい場所になるとよい

子どもの空間は、
笑い声、話し声
があふれても
大丈夫な空間
になってほしい

音楽会、映画会などのイベントに
もっと参加できるとよい
図書館でもっといろいろなことを
やってくださると、子どもから大人まで、
みんなが図書館を
利用する機会が増えるのでは

紙の本と
デジタル資料
の両方をそろえる

静かに読書したり、
集中して学習したり
するための、
リラックスできる
環境が必要

限られた空間を、
みんなで
協力しながら
使っていく
という考え方も必要

区立図書館と学校図書館
の配送の仕組み
を整えてほしい

地域課題について
学ぶための、
区立図書館、
学校図書館の
コレクション充実

デジタルデバイド
対策の拠点
にもなってほしい！

他の部署と
協働して
できる部分など、
広い視点で
考えていきたい

子どもたちがキーワードなどを入力
すると、こんな本がある、
タブレットからタップすれば、すぐ借りられる、
学校に届くという形になれば、
本に触れる機会が増えるのでは

書店との
共存・共栄

書店のイベントなどに、
学校の先生、ボランティア、
学校に関わるいろいろな方
も来て、子どもの読書に
関する情報共有が
できるとよいのでは

もう少し近いところで
借りられる、返すことが
できる仕組み

移動図書館で、
公園など好きな場所で
読書ができると
楽しそう！

江戸川区に
多く住んでいる
外国の方に向けた
サービスの充実

外国語で対応できる人
の育成や、同時通訳が
できるタブレットなどを
設置して、
外国の方にも
利用しやすく！

「江戸川区立図書館に関するアンケート」結果

実施概要：調査対象・方法・期間

調査対象

<江戸川区内の施設等における調査票配布等>

- 図書館
- 共育プラザ（子育てひろば）
- なごみの家
- アリオ葛西

<各種媒体でのウェブフォームの案内>

- 図書館ウェブサイト訪問者
- 区公式LINEフォロワー
- 区公式X（旧Twitter）やFacebookのフォロワー・閲覧者
- 「外国人住民の暮らしについてのアンケート」（ちらし同封）
- 江戸川区職員

調査方法

各施設での調査票（アンケート用紙）の配布、またはウェブフォーム

調査期間

2023年（令和5年）8月8日（火）～9月30日（土）

有効回収数

項目	回答数（件）	回答構成比
ウェブ	1694	50.89%
紙	1635	49.11%
計	3329	100.00%

単純集計

■ 問1 アンケートを知った場所

項目	回答数（件）	回答構成比
図書館	926	27.82%
図書館ウェブサイト	672	20.19%
なごみの家	211	6.34%
共育プラザ	326	9.79%
子育てひろば	33	0.99%
アリオ葛西	181	5.44%
学校	13	0.39%
区役所	9	0.27%
区役所（職員）	102	3.06%
江戸川区ホームページ	67	2.01%
江戸川区公式LINE	602	18.08%
江戸川区公式X（旧Twitter）アカウント	30	0.90%
SNS	4	0.12%
LINE	8	0.24%
X（旧Twitter）	72	2.16%
Facebook	6	0.18%
子ども未来館	1	0.03%
家族・親戚	3	0.09%
職場・オフィス	2	0.06%
友人・知人・仲間	7	0.21%
その他・無回答・無効回答	54	1.62%
計	3329	100.00%

■ 問2 住んでいる地域

項目	回答数（件）	回答構成比	人口構成比（令和5年4月1日現在）
中央	416	12.50%	19.68%
小松川	288	8.65%	8.10%
小岩	388	11.66%	14.07%
葛西	1225	36.80%	37.95%
東部	466	14.00%	12.31%
鹿骨	205	6.16%	7.89%
区外	179	5.38%	—
わからない	123	3.69%	—
選択肢の地域をまたがる回答	10	0.30%	—
その他・無回答	29	0.87%	—
計	3329	100.00%	100.00%

■ 問3 年代

項目	回答数（件）	回答構成比	人口構成比（令和5年4月1日現在）
12歳以下	190	5.71%	10.24%
13歳～15歳	203	6.10%	2.63%
16歳～19歳	88	2.64%	3.65%
20歳代	195	5.86%	13.00%
30歳代	506	15.20%	12.89%
40歳代	632	18.98%	14.84%
50歳～64歳	818	24.57%	21.43%
65歳～74歳	392	11.78%	9.45%
75歳以上	287	8.62%	11.87%
無回答	18	0.54%	—
計	3329	100.00%	100.00%

■ 問4 国籍

項目	回答数（件）	回答構成比
日本	3258	97.87%
中国	19	0.57%
韓国	6	0.18%
インド	4	0.12%
フィリピン	6	0.18%
ベトナム	1	0.03%
タイ	1	0.03%
マレーシア	1	0.03%
ミャンマー	1	0.03%
台湾	1	0.03%
オーストラリア	1	0.03%
重複回答	10	0.30%
無回答	20	0.60%
計	3329	100.00%

■ 問5 職業

項目	回答数（件）	回答構成比
働いている	1755	52.72%
学生	511	15.35%
専業主婦・主夫、家事手伝い	528	15.86%
無職（「学生」「専業主婦・主夫、家事手伝い」以外）	442	13.28%
年金受給者	8	0.24%
職業訓練中、就業予定	2	0.06%
休職中、育児休業中	17	0.51%
幼児	3	0.09%
その他・無回答	63	1.89%
計	3329	100.00%

問6 図書館の利用状況

項目	回答数（件）	回答構成比
利用する	2744	82.43%
利用しない	563	16.91%
無回答	22	0.66%
計	3329	100.00%

問7 図書館の利用回数

項目	回答数（件）	回答構成比
ほぼ毎日	89	3.24%
週に1～2回	726	26.46%
月に1～2回	1201	43.77%
2～3か月に1回	377	13.74%
半年に1回	204	7.43%
年に1回	141	5.14%
不定期	1	0.04%
無回答	5	0.18%
計	2744	100.00%

問8 図書館を利用しない理由（複数回答可）

項目	回答数（件）	回答対象数（問6で「利用しない」の回答者数 = 563件）に対する割合	回答者数（718件）に対する割合
読みたい本がない	120	21.31%	16.71%
時間がない	230	40.85%	32.03%
場所を知らない	61	10.83%	8.50%
図書館が遠い	221	39.25%	30.78%
開館時間が短い	36	6.39%	5.01%
本は購入する	168	29.84%	23.40%
本に興味がない	67	11.90%	9.33%
図書館に興味がない	66	11.72%	9.19%
図書館ですることがない	74	13.14%	10.31%
インターネットやスマホで用が足りる	122	21.67%	16.99%

「その他」の回答をカテゴリ分けして確認 ※多いものから順番に並べた

- 子どものことが気になる 13件
- 館内環境が合わない（室温、匂い等） 7件
- 衛生面が気になる 6件
- 学習スペースの不足 6件
- 返却が不便 5件
- 身体的・精神的に不自由がある 4件
- 他にすることがある 4件
- 座席がない・狭い 3件
- 予約資料の確保に時間がかかる 3件
- 他の図書館に行く 3件
- 引っ越したばかり 3件
- 面倒 3件
- 利用の仕方がわからない 2件 など

■問9 これからの図書館に期待すること

※「強く思う」を2、「思う」を1、「そう思わない」を-1と数値化したときの平均値

	項目	平均値
①	本と出会い読書を楽しめる	1.58
②	静かな読書・学習のスペースがある	1.55
③	必要な資料が質・量ともに揃っている	1.50
④	近くの施設での資料の受取や返却ができる	1.48
⑤	資料の配置が魅力的でわかりやすい	1.43
⑥	セルフ貸出機などで、自分で貸出や返却ができる	1.38
⑦	家から電子資料（図書、雑誌など）をPC・スマホで利用できる	1.28
⑧	Wi-Fi環境や電源が整っており、自分のPC・スマホで作業できる	1.22
⑨	新聞雑誌記事、事典、統計、調査データなどのデータベースを利用できる	1.19
⑩	障害者・高齢者・外国の人など様々な人々への配慮がある	1.13
⑪	音楽資料や映像資料を利用できる	1.09
⑫	地域の歴史・文化や様々な情報に関するコレクションがある	1.08
⑬	イベントや閲覧席、会議室のネット予約ができる	1.07
⑭	子ども向け・子育て支援のイベントがある	1.04
⑮	地域の歴史・文化などについての情報発信の拠点である	1.01
⑯	子どもが、寝転んだり、にぎやかにしているスペースがある	0.97
⑰	ものづくり・プログラミング・音楽・その他、様々な趣味などの場になる	0.86
⑱	グループで学習や作業できるスペースがある	0.85
⑲	ものづくりを学んだり必要な作業をしたりできる場所がある	0.81
⑳	作者を囲む会などのイベントがある	0.81
㉑	飲食、くつろげるスペースがある。談話も可能	0.70
㉒	多世代、多文化など多様な人々と交流できるイベントがある	0.68
㉓	情報の探し方や安全なスマホやインターネット活用のための講座がある	0.63
㉔	キャリアアップ・起業・就業のための講座などがある	0.58
㉕	図書館ボランティアとして活動できる	0.57
㉖	専門機関などの紹介を受けられる	0.56

■問10 ご要望・ご意見

カテゴリ	主なご意見
求める 図書館の姿 (105件)	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが気軽に足を運びたいと思える場所。快適で自由に本が読める、本の森のような空間があると思えば、集中して学習や仕事ができる、時には講座やイベント、相談もできる、会議や文化活動もできる多様な機能も備え、子どもからお年寄りまで、どんな人も自由に利用できる。 ●地域の文化や歴史をはじめ、さまざまな知識に手軽にアクセスできる場所であってほしい。これからの時代はより一層デジタル技術を活用して効率化や利便性向上に努めてほしい。ただ、図書館は静かに読書や調べものをする場所と認識しており、娯楽性の高いイベント等は避けるべきである。 ●書籍をただ貸し借りするだけなら、原則来館不要で貸し借りが完了するようにしていくべき。そのうえで、来館すること自体も新たな興味・関心の発見につながる魅力の増進に期待したい。
サービス (386件)	<p><図書館システム> 129件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Webサイト・予約・検索システムの使い勝手をよくしてほしい。 ●Webで資料のリクエストをしたい。 ●アプリ等で貸出カードを表示できるようにしてほしい。 <p><イベント・企画> 69件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子ども向け・大人向けともに、多種多様なイベントや企画があるとよい。 ●各館のイベントをまわしてほしい。図書館だけでなく、出張して実施してほしい。 ●イベントや企画を、地域の方の力も借りて、行ってほしい。 <p><新しいサービスなど> 57件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●共働きやひとり親の子、家で学習することが難しい子たちの居場所として機能してほしい。そのために、イベントを増やしたり、学習を支援する場を設けたり、子どもだけで利用できる時間を長くしてほしい。

カテゴリ	主なご意見
コレクション (233件)	<ul style="list-style-type: none"> ●蔵書を充実させ多種多様な資料をそろえてほしい。 (マンガ、雑誌、専門書、教科書、学習参考書、視聴覚資料、電子資料、ゲームなど) ●どの分野においても、常に最新のものがそろっていると嬉しい。 ●いろいろな本があるのがいい。その上で、正しく情報が整理されている質の高いところが図書館であればいい。 ●売れていなくても良い書籍、個人で買うには高すぎる学術書、専門書などを中心に幅広く貸し出すべき。 ●人気のある本を増冊していただけたら嬉しい。 ●人気のある本を、何冊も買うのではなく、希少な本もそろえてほしい。
施設・設備 (443件)	<p><返却ポスト・窓口の設置> 81件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●駅や商業施設など、利便性の高い場所に、返却ポストや貸出・返却ができる窓口を設置してほしい。 ●コミュニティ会館など図書館以外の区の施設でも、貸出・返却ができるようにしてほしい。 <p><館内スペースについて> 137件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもはどうしても声を出して読んでもらったり、話したりして静かに見る事が難しいので、それが可能なスペースがあると嬉しい。親子連れも使用しやすいと思う。 ●小中学生、高校生が、個人やグループで学習したりできるスペースを増やしてほしい。 ●学習・仕事のためのスペースを増やしてほしい。個別ブース、間仕切りがあるとより集中しやすく作業などがはかどる。 ●例えば月曜はシルバーデイ、火曜は学生デイ、水曜は子連れデイなど、あらゆる利用者が平等に（文句を言われることなく）施設を利用できる機会が設けられるといい。 ●子どもが利用しやすい環境があるとありがたいが、大人が集中して読書したり、資料を探したり出来る静かな空間があることも図書館の良い所でもあるので、階数ごとに住み分けする等の工夫があるとありがたい。 ●集中と、にぎわいにエリアを分け、楽しい場にしてほしい。 ●来館者がくつろげるカフェや飲食できるスペースがあるといい。

カテゴリ	主なご意見
運営 (128件)	<p> <職員の待遇等> 23件 </p> <ul style="list-style-type: none"> ● 資料の充実とともに、職員の増員・育成にも力をいれてほしい。セルフ貸出機の充実など気軽に利用したいこともある一方で、資料を探すときなど職員に頼らないと解決できないことも多い。 ● 働く人が心地よい環境にならないと、利用者にとっても心地よい環境にはならないと思う。 <p> <開館日・開館時間等> 26件 </p> <ul style="list-style-type: none"> ● 遅くまで開いているので助かる。 ● 人的負担や省エネルギーなどを考慮し、開館時間は短くてもよい。 <p> <ボランティア参加等> 12件 </p> <ul style="list-style-type: none"> ● ボランティアとして、仕事してみたい。 ● ボランティアもいいが、江戸川区に住んで、江戸川区で働くことができると地域の人とのつながり、安心感、地域への関心も高まるのではないか。

問8「図書館を利用しない理由」の年代別クロス集計

※それぞれの回答対象数に対する割合

	読みたい本がない	時間がない	場所を知らない	図書館が遠い	開館時間が短い	本は購入する	本に興味がない	図書館に興味がない	図書館ですることがない	インターネットやスマホで用が足りる
12歳以下	78.13%	56.25%	25.00%	50.00%	9.38%	28.13%	56.25%	28.13%	31.25%	21.88%
13歳～15歳	55.56%	62.96%	18.52%	41.98%	9.88%	39.51%	34.57%	41.98%	37.04%	38.27%
16歳～19歳	12.90%	32.26%	0.00%	22.58%	3.23%	35.48%	9.68%	6.45%	9.68%	16.13%
20歳代	9.09%	38.64%	11.36%	27.27%	9.09%	25.00%	6.82%	0.00%	27.27%	15.91%
30歳代	12.50%	29.17%	13.54%	37.50%	4.17%	23.96%	6.25%	5.21%	8.33%	17.71%
40歳代	12.31%	41.54%	7.69%	49.23%	10.77%	27.69%	3.08%	6.15%	6.15%	26.15%
50歳～64歳	11.65%	42.72%	6.80%	35.92%	4.85%	28.16%	3.88%	4.85%	4.85%	20.39%
65歳～74歳	16.67%	31.48%	7.41%	50.00%	7.41%	35.19%	5.56%	1.85%	3.70%	22.22%
75歳以上	1.82%	29.09%	7.27%	34.55%	0.00%	27.27%	0.00%	10.91%	0.00%	9.09%

問9「これからの図書館に期待すること」の年代等の属性別クロス集計（本編にある「図書館へのニーズ」の分析に使用したもの）

※チェック項目別
回答構成比

若い世代のニーズ

■【12歳以下】くつろげる図書館

年代別	飲食、くつろげるスペースがある。談話も可能			子どもが、寝転んだり、にぎやかにしているスペースがある		
	強く そう思う	そう思う	そう 思わない	強く そう思う	そう思う	そう 思わない
12歳以下	48.54%	31.58%	19.88%	48.52%	28.40%	23.08%
13歳～15歳	39.09%	38.07%	22.84%	33.16%	42.86%	23.98%
16歳～19歳	47.67%	32.56%	19.77%	34.88%	44.19%	20.93%
20歳代	43.01%	33.33%	23.66%	40.11%	36.81%	23.08%
30歳代	40.70%	34.36%	24.95%	51.75%	28.54%	19.71%
40歳代	33.60%	36.35%	30.05%	34.10%	37.54%	28.36%
50歳～64歳	23.54%	39.02%	37.43%	18.00%	38.93%	43.07%
65歳～74歳	21.90%	38.24%	39.87%	18.54%	45.36%	36.09%
75歳以上	18.18%	35.15%	46.67%	14.77%	37.58%	47.65%

■【16歳～19歳】多様な情報源

年代別	音楽資料や映像資料を利用できる			新聞雑誌記事、事典、統計、調査データなどのデータベースを利用できる		
	強く そう思う	そう思う	そう 思わない	強く そう思う	そう思う	そう 思わない
12歳以下	35.88%	41.18%	22.94%	30.99%	46.78%	22.22%
13歳～15歳	34.02%	45.88%	20.10%	28.50%	49.22%	22.28%
16歳～19歳	48.84%	38.37%	12.79%	47.67%	41.86%	10.47%
20歳代	39.56%	42.86%	17.58%	53.01%	38.80%	8.20%
30歳代	34.03%	50.52%	15.45%	43.98%	45.23%	10.79%
40歳代	40.52%	49.35%	10.13%	43.77%	49.18%	7.05%
50歳～64歳	38.74%	49.80%	11.46%	44.03%	48.54%	7.43%
65歳～74歳	37.46%	48.16%	14.38%	32.11%	54.85%	13.04%
75歳以上	25.50%	57.05%	17.45%	31.48%	53.09%	15.43%

■【学生】さまざまな活動

職業等別	多世代、多文化など多様な人々と交流できるイベントがある			情報の探し方や安全なスマホやインターネット活用のための講座がある			専門機関などの紹介を受けられる		
	強く そう思う	そう思う	そう 思わない	強く そう思う	そう思う	そう 思わない	強く そう思う	そう思う	そう 思わない
働いている	23.55%	46.91%	29.54%	21.93%	46.83%	31.24%	22.61%	43.79%	33.60%
学生	30.60%	41.48%	27.93%	26.95%	44.44%	28.60%	27.07%	44.01%	28.93%
専業主婦・ 主夫、家事 手伝い	22.03%	54.85%	23.13%	21.11%	51.11%	27.78%	18.89%	47.47%	33.64%
無職	25.24%	44.79%	29.97%	26.11%	45.22%	28.66%	20.59%	43.46%	35.95%

職業等別	図書館ボランティアとして活動できる			Wi-Fi環境や電源が整っており、自分のPC・スマホで作業できる			グループで学習や作業できるスペースがある		
	強く そう思う	そう思う	そう 思わない	強く そう思う	そう思う	そう 思わない	強く そう思う	そう思う	そう 思わない
働いている	15.87%	50.82%	33.31%	55.03%	30.77%	14.20%	31.27%	42.18%	26.55%
学生	30.45%	45.88%	23.66%	53.29%	31.48%	15.23%	48.55%	35.54%	15.91%
専業主婦・ 主夫、家事 手伝い	18.18%	54.77%	27.05%	46.12%	38.36%	15.52%	31.28%	48.24%	20.48%
無職	15.72%	50.50%	33.78%	42.72%	40.25%	17.03%	20.85%	48.86%	30.29%

職業等別	ものづくりを学んだり必要な作業をしたりできる場所がある			飲食、くつろげるスペースがある。談話も可能			子どもが、寝転んだり、にぎやかにしているスペースがある		
	強く そう思う	そう思う	そう 思わない	強く そう思う	そう思う	そう 思わない	強く そう思う	そう思う	そう 思わない
働いている	29.88%	43.85%	26.27%	30.85%	37.07%	32.07%	31.68%	35.83%	32.49%
学生	38.51%	42.86%	18.63%	44.93%	33.75%	21.33%	38.88%	38.25%	22.87%
専業主婦・ 主夫、家事 手伝い	33.55%	46.19%	20.26%	31.60%	39.39%	29.00%	31.93%	37.92%	30.16%
無職	20.06%	48.87%	31.07%	24.46%	31.89%	43.65%	18.47%	41.72%	39.81%

子育て・働き盛り世代のニーズ

■ 子育てや仕事に役立つサービス

年代別	子ども向け・子育て支援のイベントがある			キャリアアップ・起業・就業のための講座などがある		
	強く そう思う	そう思う	そう 思わない	強く そう思う	そう思う	そう 思わない
12歳以下	31.03%	45.40%	23.56%	18.13%	40.94%	40.94%
13歳～15歳	27.27%	45.96%	26.77%	16.49%	47.42%	36.08%
16歳～19歳	31.76%	47.06%	21.18%	19.77%	51.16%	29.07%
20歳代	35.87%	50.54%	13.59%	27.03%	47.03%	25.95%
30歳代	55.78%	35.09%	9.13%	25.47%	42.03%	32.51%
40歳代	44.41%	44.25%	11.35%	28.41%	43.84%	27.75%
50歳～64歳	28.09%	53.36%	18.55%	19.68%	49.60%	30.73%
65歳～74歳	20.33%	62.30%	17.38%	16.78%	44.86%	38.36%
75歳以上	26.14%	51.63%	22.22%	15.89%	48.34%	35.76%

年代別	近くの施設での資料の受取や返却ができる			家から電子資料（図書、雑誌など）をPC・スマホで利用できる		
	強く そう思う	そう思う	そう 思わない	強く そう思う	そう思う	そう 思わない
12歳以下	47.06%	37.65%	15.29%	44.12%	40.00%	15.88%
13歳～15歳	38.34%	45.08%	16.58%	38.78%	39.80%	21.43%
16歳～19歳	51.16%	39.53%	9.30%	48.84%	37.21%	13.95%
20歳代	76.76%	18.92%	4.32%	75.96%	17.49%	6.56%
30歳代	74.39%	21.72%	3.89%	66.39%	23.57%	10.04%
40歳代	74.68%	20.94%	4.38%	61.07%	28.66%	10.26%
50歳～64歳	66.36%	27.38%	6.26%	57.16%	31.27%	11.56%
65歳～74歳	44.98%	44.34%	10.68%	38.03%	42.61%	19.37%
75歳以上	36.05%	48.26%	15.70%	22.14%	45.71%	32.14%

年代別	イベントや閲覧席、会議室のネット予約ができる			資料の配置が魅力的でわかりやすい		
	強く そう思う	そう思う	そう 思わない	強く そう思う	そう思う	そう 思わない
12歳以下	31.18%	41.76%	27.06%	46.78%	41.52%	11.70%
13歳～15歳	27.55%	40.31%	32.14%	43.88%	38.78%	17.35%
16歳～19歳	44.19%	39.53%	16.28%	57.47%	31.03%	11.49%
20歳代	52.46%	31.69%	15.85%	64.48%	32.24%	3.28%
30歳代	52.90%	34.44%	12.66%	65.91%	29.96%	4.13%
40歳代	49.09%	42.01%	8.90%	63.15%	33.28%	3.57%
50歳～64歳	42.31%	40.98%	16.71%	58.40%	38.19%	3.41%
65歳～74歳	26.86%	49.12%	24.03%	40.07%	52.12%	7.82%
75歳以上	18.75%	47.22%	34.03%	31.71%	48.17%	20.12%

年代別	必要な資料が質・量ともに揃っている			新聞雑誌記事、事典、統計、調査データなどのデータベースを利用できる		
	強く そう思う	そう 思う	そう 思わない	強く そう思う	そう 思う	そう 思わない
12歳以下	44.44%	41.52%	14.04%	30.99%	46.78%	22.22%
13歳～15歳	48.47%	36.73%	14.80%	28.50%	49.22%	22.28%
16歳～19歳	64.37%	28.74%	6.90%	47.67%	41.86%	10.47%
20歳代	77.84%	18.92%	3.24%	53.01%	38.80%	8.20%
30歳代	72.02%	25.31%	2.67%	43.98%	45.23%	10.79%
40歳代	71.45%	25.45%	3.10%	43.77%	49.18%	7.05%
50歳～64歳	65.46%	30.14%	4.40%	44.03%	48.54%	7.43%
65歳～74歳	48.11%	41.82%	10.06%	32.11%	54.85%	13.04%
75歳以上	33.14%	50.29%	16.57%	31.48%	53.09%	15.43%

図書館を利用していない方のニーズ

■ 従来の図書館の枠から、一歩ふみ出したサービス

利用の有無別	ものづくり・プログラミング・音楽・その他、様々な趣味などの場になる			グループで学習や作業できるスペースがある			飲食、くつろげるスペースがある。談話も可能		
	強く そう思う	そう 思う	そう 思わない	強く そう思う	そう 思う	そう 思わない	強く そう思う	そう 思う	そう 思わない
利用する	28.10%	49.98%	21.92%	32.53%	42.66%	24.81%	31.55%	35.87%	32.57%
利用しない	31.85%	50.00%	18.15%	36.11%	43.06%	20.83%	36.49%	38.80%	24.71%

問9 これからの図書館に期待すること

該当するものにチェック(し点)をつけてください。

強く
そう
思う

そう
思う

そう
思わ
ない

本と出会い読書を楽しめる			
ものづくり・プログラミング・音楽・その他、様々な趣味などの場になる			
子ども向け・子育て支援のイベントがある			
キャリアアップ・起業・就業のための講座などがある			
作者を囲む会などのイベントがある			
地域の歴史・文化などについての情報発信の拠点である			
多世代、多文化など多様な人々と交流できるイベントがある			
情報の探し方や安全なスマホやインターネット活用のための講座がある			
専門機関などの紹介を受けられる			
障害者・高齢者・外国の人など様々な人々への配慮がある			
図書館ボランティアとして活動できる			
セルフ貸出機などで、自分で資料の貸出や返却ができる			
Wi-Fi 環境や電源が整っており、自分の PC・スマホで作業できる			
近くの施設で資料の受取や返却ができる			
家から電子資料(図書、雑誌など)を PC・スマホで利用できる			
イベントや閲覧席、会議室のネット予約ができる			
資料の配置が魅力的でわかりやすい			
必要な資料が質・量ともに揃っている			
音楽資料や映像資料を利用できる			
新聞雑誌記事、事典、統計、調査データなどのデータベースを利用できる			
地域の歴史・文化や様々な情報に関するコレクションがある			
静かな読書・学習のスペースがある			
グループで学習や作業できるスペースがある			
ものづくりを学んだり必要な作業をしたりできる場所がある			
飲食、くつろげるスペースがある。談話も可能			
子どもが、寝転んだり、にぎやかにしているスペースがある			

問 10 ご要望・ご意見

自由にお書きください。

ありがとうございました。ご記入いただいた内容は、アンケートの集計のみに使用し、集計後の統計資料はアンケートの趣旨・目的以外の目的には使用しません。

【アンケート企画・実施】(株)未来の図書館研究所(江戸川区立図書館基本計画策定支援業務委託受託団体)

図書館施設一覧

2023年（令和5年）4月1日現在

図書館名	設置年月	延床面積 (m ²)	構造	開館時間	休館日 (蔵書点検及び臨時休館除く)
① 中央図書館	平成12年7月	7,500.00	地上4階 地下1階	9:00～ 21:30	毎月第4月曜日・ 12/31～1/2
② 小岩図書館	昭和21年12月	2,932.80	4階建		
③ 松江図書館	昭和26年9月	704.45	松江区民 プラザ 1階		
④ 小松川図書館	昭和32年8月	1,209.18	3階建		
⑤ 篠崎図書館	昭和42年5月	1,087.37	篠崎文化 プラザ 3階		
⑥ 葛西図書館	昭和49年6月	1,550.55	3階建		
⑦ 西葛西図書館	平成5年5月	2,341.85	地上3階 地下1階		
⑧ 東葛西図書館	平成17年9月	1,398.36	東葛西 コミュニティ会館 1～2階		
⑨ 東部図書館	平成22年12月	2,000.97	2階建		
⑩ 篠崎子ども 図書館	平成22年4月	412.21	子ども未来館 1階	9:00～ 17:00	毎月第4月曜日・ 12/29～1/3
⑪ 鹿骨コミュニティ 図書館	平成16年4月	407.21	鹿骨区民館 1階	9:00～ 21:30	毎月第4月曜日・ 12/31～1/2
⑫ 清新町コミュニティ 図書館	平成16年4月	435.00	清新町 コミュニティ会館 2階		

図書館名	施設設備等 <small>※印は併設施設と共用の設備も含みます。</small>
① 中央図書館	地下19台 (有料) 1台 データベース/インターネット閲覧席 持ち込みパソコン利用席 対面朗読室 録音室 音声対応パソコン 拡大読書器 点字プリンター カセットレコーダー デジタル録音機 DAISY再生機 (プレクストーク等)
② 小岩図書館	※ (92台 バイク5台) 9台 1台 データベース/インターネット閲覧席 持ち込みパソコン利用席 対面朗読室 録音室 拡大読書器 カセットレコーダー
③ 松江図書館	※ 1台 インターネット閲覧タブレット (データベースの閲覧はできません)
④ 小松川図書館	 インターネット閲覧タブレット (データベースの閲覧はできません) 持ち込みパソコン利用席
⑤ 篠崎図書館	※ データベース/インターネット閲覧席 持ち込みパソコン利用席
⑥ 葛西図書館	7台 1台 データベース/インターネット閲覧席 持ち込みパソコン利用席
⑦ 西葛西図書館	 データベース/インターネット閲覧席 持ち込みパソコン利用席 対面朗読室 点字作業室 音声対応パソコン 点字プリンター
⑧ 東葛西図書館	※ 11台 1台 データベース/インターネット閲覧席 対面朗読室 録音室 点字作業室 音声対応パソコン 拡大読書器 点字プリンター カセットレコーダー DAISY再生機 (プレクストーク等)
⑨ 東部図書館	7台 1台 データベース/インターネット閲覧席 持ち込みパソコン利用席
⑩ 篠崎子ども図書館	※ 4台 1台 データベース/インターネット閲覧席
⑪ 鹿骨コミュニティ図書館	※ 40台 2台 データベース/インターネット閲覧席
⑫ 清新町コミュニティ図書館	※ インターネット閲覧タブレット (データベースの閲覧はできません)

駐輪場 (バイク駐輪可) 駐車場 障害者用駐車場 エレベーター

多目的トイレ 乳幼児おむつ替えベッド 授乳室 音声案内

用語集

用語	説明	掲載ページ
ア ICタグ (アイシータグ)	ICチップを埋め込んだ荷札 (タグ) のことで、専用機器を用いて無線でデータの書込・読取が可能である。図書館では蔵書のデータの管理や盗難防止に使用されることが多い。	p.9
アクセシブル	「アクセシブル」は利用しやすいこと。読むことに困難がある方でも利用しやすい書籍や資料を「アクセシブルな書籍 (資料)」という。	p.9、24、31
アクセシブルライブラリー	メディアハウスによる、視覚障害者専用の電子図書館サービス。江戸川区立図書館で契約し、利用者に提供している。	p.9
移動図書館	何らかの移動手段を用いて図書館資料を図書館から離れた場所に運び、図書館職員によるサービスを提供する図書館またはサービス方式。	p.33
ウェブリクエスト	「リクエスト」とは図書館が所蔵していない資料について、他自治体の図書館と協力したり、購入によって、提供するサービスのことをいう。現在江戸川区立図書館では申込用紙で受け付けているが、ウェブで受け付ける方式を「ウェブリクエスト」という。	p.20
AI (エーアイ)	「Artificial Intelligence」(人工知能) の略語で、言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間にかわってコンピュータに行わせる技術のこと。	p.20
SDGs (エスディーズ)	2030年までにすべての国連加盟国が達成を目指す国際目標。経済 (経済的な豊かさ)、社会 (ひとり一人の人権の尊重)、環境 (地域環境の保護) の3つのバランスをとり、将来まですべての人が平和で豊かに暮らせる世界を実現しようとするもの。	p.3、4
OPAC (オパック / オールパック)	「Online Public Access Catalog」の略。電子化され、蔵書検索のために利用者に公開された目録のこと。ウェブで提供され、インターネットを通じて図書館外から利用できるものを、特に「ウェブOPAC」という。	p.17

	用語	説明	掲載ページ
	オンラインデータベース	ネットワークを経由して利用できるデータベースのこと。図書館では特に、サービス事業者と契約することで利用者に提供している、新聞や雑誌の記事、統計データ、辞書事典類等のデータベースのことをいう。江戸川区立図書館でもいくつかのオンラインデータベースを提供している。	p.10、23
カ	GIGA（ギガ） スクール構想	全国の児童・生徒に対して一人一台のコンピュータと高速ネットワークを整備する文部科学省の取組み。江戸川区でもタブレットPCの提供などを行っている。	p.34
	子ども司書養成講座	図書館に関する講座を受講した子どもたちを「子ども司書」（自治体によっては「読書リーダー」などの名称もある）として認定し、図書館とともに地域へ読書の楽しさや大切さを広める活動に参加できるようにする取組み。	p.33
	子ども読書活動 推進計画	「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条2項により、国が策定した基本計画等を勘案し、地方公共団体がそれぞれの地域の実情をふまえて策定する、子どもの読書活動の推進に関する計画。	p.3
	コレクション	図書館の蔵書（所蔵している資料）のことであるが、現在は電子書籍など「蔵書」という用語ではカバーできないものもあるため、本計画では「コレクション」と呼ぶ。	p.16、21、22、 25、29、32、 34
	コンテンツ	「コンテンツ」とは内容のことで、メディアに記録されたテキストや音声、動画などをこのように呼ぶことがある。	p.23、32
サ	サピエ図書館	「サピエ」とは、視覚障害者、視覚による表現の認識が困難な方々に対し、さまざまな情報を点字、音声データで提供するネットワークのこと。そのサービスの一つに点字図書や録音図書などの書誌データベース「サピエ図書館」がある。江戸川区立中央図書館もサピエの会員施設・団体となっている。	p.17

用語	説明	掲載ページ
指定管理者制度	公の施設の運営を、民間企業を含め指定した者に委ねることができる制度。平成15年の地方自治法の改正により、区民施設や図書館など公共施設の管理を民間会社等に行わせることが可能となった。江戸川区立図書館の運営はこの制度により指定管理者が行っている。	p.7、25
自動予約棚	予約した図書館資料の受取・貸出を利用者自身でできる仕組み。	p.20
ゾーニング	建築計画で、静かなエリア、にぎやかなエリアなど、用途等によって施設内を区分すること。	p.26
対面朗読	視覚に障害のある方などを対象に、資料を朗読するサービス。江戸川区立図書館でも提供している。	p.10、17
団体貸出用図書パッケージ	団体貸出用に、さまざまなテーマによりあらかじめ用意された図書等のセットのこと。	p.34
DX（ディーエックス）	「Digital Transformation」の略語で、デジタル化やコンピュータ化を通じて業務やサービスを改善し変革すること。	p.20
デジタルアーカイブ	博物館・美術館、図書館、文書館・資料館、大学・研究機関等の公共性の高いデータを電子化して、そのデジタル資料を管理・公開するシステムやサービス。江戸川区立図書館でも提供している。	p.9、21、23
デジタルサイネージ	館内などに設置され、ディスプレイなどの機器を使って、さまざまな情報を発信する仕組みのこと。タッチパネル式のものもある。	p.26
デジタルデバイド	インターネットやパソコン等のデジタル技術を利用できる者とできない者との間に生じる格差のこと。	p.13、18
電子図書サービス	PCやタブレット、スマートフォンなどで、これらの画面上で読める書籍である「電子図書」を閲覧できるよう提供するサービスを「電子図書サービス」という。江戸川区立図書館では現在、前述の「アクセシブルライブラリー」と、外国語の資料を多くそろえた電子図書サービスの2種を提供しており、これらはインターネットを通じて図書館外でも利用できる。	p.9、18、21、23、24

用語	説明	掲載ページ
読書バリアフリー計画	「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」第8条により、国が策定した基本計画等を勘案し、地方公共団体がそれぞれの地域の実情をふまえて策定する、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画。	p.3
図書館アプリ	図書館が提供する、図書館サービスを利用するためのアプリのこと。「アプリ」とはさまざまな機能を持ったソフトウェアのことで、特にスマートフォンやタブレットPCのもの。	p.20
図書館サテライト	もっと身近に区立図書館をご利用いただくため、区内10か所の小中学校に「区立図書館サテライト」を設置している。週2回、予約資料の貸出や返却、利用登録など、区立図書館の一部のサービスがご利用いただける。特に、「ブックポスト」は、年末年始等を除く24時間利用可能で、とても便利である。また、日曜日には学校図書館内の図書を自由にお読みいただける学校図書館の地域開放も行っている（資料は館内でのみ閲覧できる）。	p.7、8、9、20、25、27、30
マ マルチメディア デイジー	「デイジー」(DAISY)とは「Digital Accessible Information System」の略で、印刷された図書などを読むのが困難な方のために開発された電子図書の国際的な規格。この規格のもと、録音テープの代わりとして音声のみを記録したもの（音声デイジー）、テキスト、画像、動画なども記録した「マルチメディアデイジー」などがある。	p.24
ヤ ユニバーサル デザイン	建築や製品、ウェブサイトなどについて、誰でも利用できることをめざしたデザインのこと。	p.26
ラ りんごの棚	特別なニーズのある子どものためのアクセシブルな書籍を集めた本棚のこと。スウェーデンで始まり、この「りんごの棚」という名称で世界各地の図書館に広がっている。この本棚には、やさしく書かれた本、触って楽しめるもの、大活字本、点字の本、録音図書など、読みやすさやバリアフリーに配慮した書籍が置かれている。	p.31

用語	説明	掲載ページ
レファレンスサービス	何らかの情報、資料を求めている利用者に対して、そのニーズをききとり、求められている情報、資料を提供、あるいは資料や情報の入手に関し援助する図書館サービスのこと。これを日本の図書館では略して「レファレンス」と呼ぶこともある。	p.17、25
レフェラルサービス	レファレンスサービスのうち、外部の専門機関等を紹介、利用者の要求に応えるサービスのこと。	p.27
録音図書	本を読み上げた声を録音し、CDなどに記録したもの。著作権法第37条にもとづき、視覚障害者等を利用者として作製する。以前はカセットテープなどにアナログで記録していたが、現在は先に述べた「デイジー」の資料として、デジタルで記録されたものがほとんどである。一般向けに朗読図書（オーディオブック）として市販されているものもある。	p.21、24、31



発行月：2024年（令和6年） 4月

編集・発行：江戸川区文化共育部文化課

〒132-8501 江戸川区中央1-4-1

03-3652-1151（代表）

<https://www.city.edogawa.tokyo.jp>